

平成30年度モニタリング評価実施による改善のための対応方針等

施設名: 大阪府立少年自然の家

評価項目	評価基準	評価委員の指摘・提言等	改善のための対応方針	次年度以降の事業計画等への反映内容
I 提案の履行状況に関する項目 (4)施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	①維持管理の内容は効果的で適切か	施設の登山道入り口には、断層があり、教材として大変有効であるので、メンテナンスをしていただきたい。	ご指摘のあった箇所状況を確認の上、必要な整備を実施するよう指定管理者に求める。	利用者に見えるよう断層説明看板及び断層のメンテナンスを行う。
IIさらなるサービスの向上に関する事項 (2)自主事業	①施設の設置目的に応じた事業が適切に実施されているか ・内容(利用促進につながっているか、利用者満足度等)	指定管理期間10年なので、試行錯誤しながら利用促進に取り組んでもらいたい。	利用者の目的やニーズ分析を行いながら、設置目的に応じた事業を実施し、更なる利用促進に努めるよう指定管理者に求める。	子どもやシニア、外国人などの多様化する利用者の目的やニーズの分析を行いながら、更なる利用促進に努める。